

ローズバス 新ルート(案)
(岸和田駅起発着)

平成31年2月目標

○現行のローズバスの課題

- ・利用者数の頭打ち、じり貧
- ・低い収支率(20%未満)と高い公共負担(80%以上)
- ↑
- ・特定市民への大きな公共負担
- ・現行システムの持続性に課題
- ・今後の高齢化による運行区域の拡大等の市民ニーズに対応不可

○リニューアルの視点

- 誰もが利用しやすい持続可能な地域公共交通の確立
- 1) 利便性向上による利用者拡大
 - 2) 運行経費削減
 - 3) 利用者負担の適正化

南ルート
(1周48分
・11.6km)

凡 例
ローズバス新ルート(案)

北ルート

南ルート

路線バス

葛城線

福田線

牛滝線

東ヶ丘線

鉄道

JR阪和線

南海本線

改良点3

<利用者負担の適正化>

- ⑦ 運賃の改正(100円→170円)
- ・路線バス初乗り運賃との整合
← 民業圧迫×、路線バスルートとの重複容認
→ 収支率の改善(現在20%未満 → 目標40%)

改良点4

<検討課題>

- ⑧ バス停留所のネーミングライツ(継続検討)
- ・運賃外収入の確保
→ ルート沿道事業者・商店との連携

北ルート
(1周43分
・9.8km)

○改良点1

<利便性向上策>

- ① ルートの分割と効率化(1ルート反復廻り→2ルート一方廻)
・時間の短縮(1周60分以内)と便数増(6便/日→8便/日)
- ・バス停立ち寄りのための往復通行となる経路の効率化
- ② パターンダイヤを導入
・すべての停留所に1時間に必ず1本、毎時〇〇分発車
- ③ 乗継割引導入
・ローズバスと路線バスを乗り継じた場合、割引(50円)適用

○改良点2

<運行経費削減策>

⑤ バス停の統廃合

(1) ルート変更に伴う廃止

総合体育館前、図書館前、桜台市民センター前、星和上松台

(2) 利用者不在・極少バス停留所の廃止(過去3年間で利用者が0.5人/便以下のバス停)

上野町東、別所町1丁目、図書館前、本町、大北町、上野町西、上松台東町、山下町、上松緑町、上松町、桜台市民センター前

(3) バス停間距離の問題で存置・統合するバス停

上野町東、上松台東町、星和上松台(山下町・星和上松台)の移動、上松緑町、上松町、

⑥ 運行日に関する策

・平日(月～金)運行 (現在 月～土 運行)

現行ルート

(1周75分・18.5km)



凡 例
岸和田市ローズバス
運行ルート
路線バス
葛城線
福田線
牛滝線
東ヶ丘線
鉄道
JR阪和線
南海本線

1便あたりの乗降客数が0.5人/便未満のバス停